



令和4年9月26日
帯広開発建設部

全道でこの現場だけ！定置式水平ジブクレーンを操縦体験！ 工事現場の仕事を学びます

～陸別中学校2年生を対象とした現場見学会を開催します～

帯広開発建設部では、『北海道開発局インフラDX・i-Constructionアクションプラン』の取組の一環として、北海道横断自動車道(陸別IC(仮称)～陸別小利別)の工事現場において、地元の陸別中学校の生徒を対象に、全道で唯一工事で使用している定置式水平ジブクレーン等の操縦体験、ICT建設機械の試乗体験をしていただき、建設業への興味・関心を持っていただくことを目的に、下記のとおり、現場見学会を開催しますので、お知らせします。

北海道開発局では、地域を支える建設業の健全な発展を後押しするため、建設業等の働き方改革の実現と、建設現場の生産性向上に向けた取組を行っており、今年度も『北海道開発局建設業等の働き方改革実施方針』及び『北海道開発局インフラDX・i-Constructionアクションプラン』(※)を策定し、その取組の一つである将来の担い手確保に向けて、広報や現場見学会・体験会の開催により建設現場の魅力発信を推進しております。

※【リンク先(働き方改革)】 <https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/jg/gjyutu/splaat0000010j9l.html>

【リンク先(i-Construction)】<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/jg/gjyutu/splaat000001x3oy.html>

記

- 開催日時 令和4年10月5日(水) 10:00 ～ 12:00
- 見学場所 北海道横断自動車道 陸別町 川向改良工事(別紙①参照)
(足寄郡陸別町字陸別原野西一線)
- 対象者 陸別中学校 2年生(18名)
- 見学内容 ①ボックスカルバート施工状況の見学
②定置式水平ジブクレーン(別紙②参照)、ドローン操縦体験
③ICT建設機械試乗体験
- 共催 帯広道路事務所 工事安全連絡協議会(北海道横断自動車道部会)
国土交通省帯広開発建設部帯広道路事務所
- その他 ・取材を希望される方は、駐車場確保のため、10月3日(月)12:00
までに、以下の問合せ先にご連絡をお願いいたします。
・当日は、時間までに見学場所へお越しください。
・新型コロナウイルス等感染拡大防止のためマスク着用をお願いいたします。
・雨天等により延期する場合は、こちらより連絡いたします。

【問合せ先】

■国土交通省 北海道開発局 帯広開発建設部

帯広道路事務所 第2工務課長 佐々木 一靖 電話 0155-25-1250

帯広開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/ob/index.html>

公式Twitterアカウント @mlit_hkd_ob

■帯広道路事務所 工事安全連絡協議会

北海道横断自動車道部会長

早川 剛史

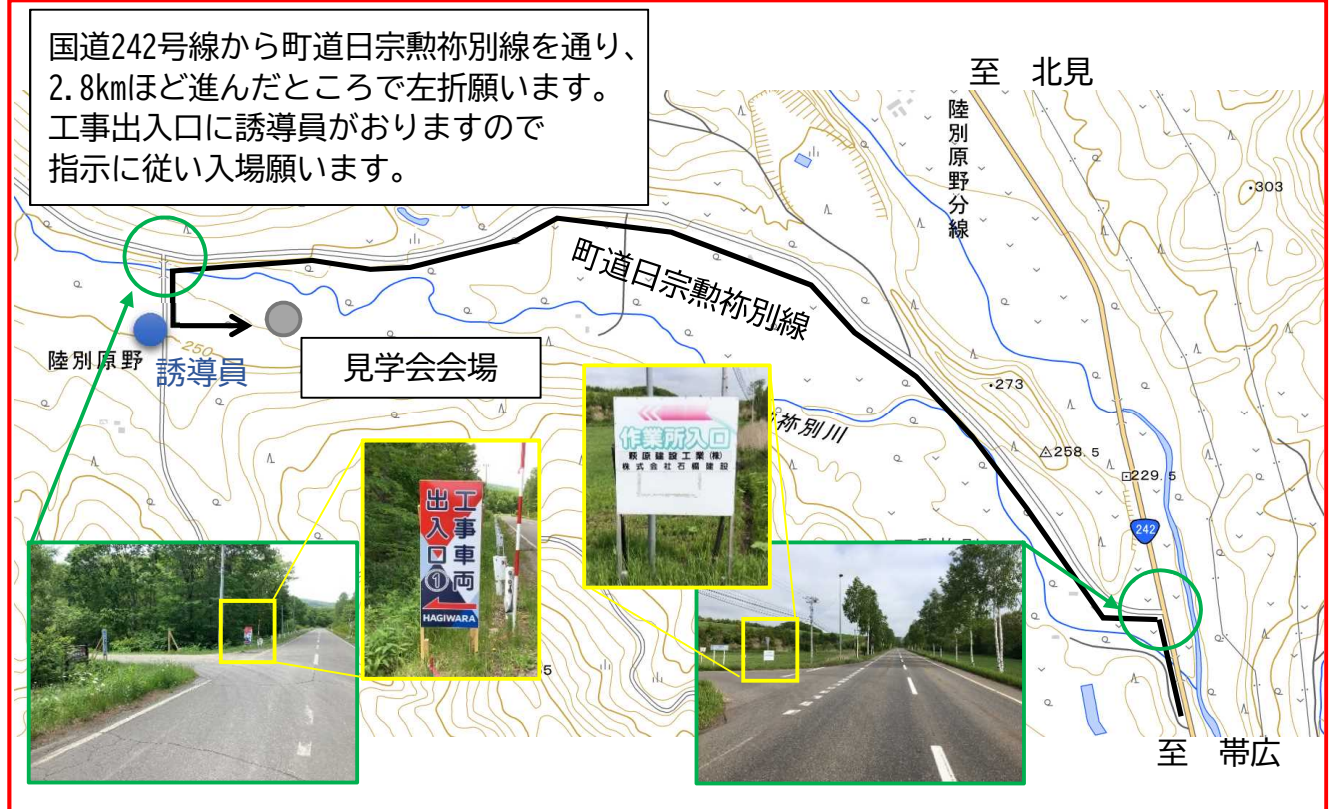
電話 0156-28-0056



【別紙① 会場案内図】



国道242号線から町道日宗勲祢別線を通り、2.8kmほど進んだところで左折願います。工事出入口に誘導員がおりますので指示に従い入場願います。

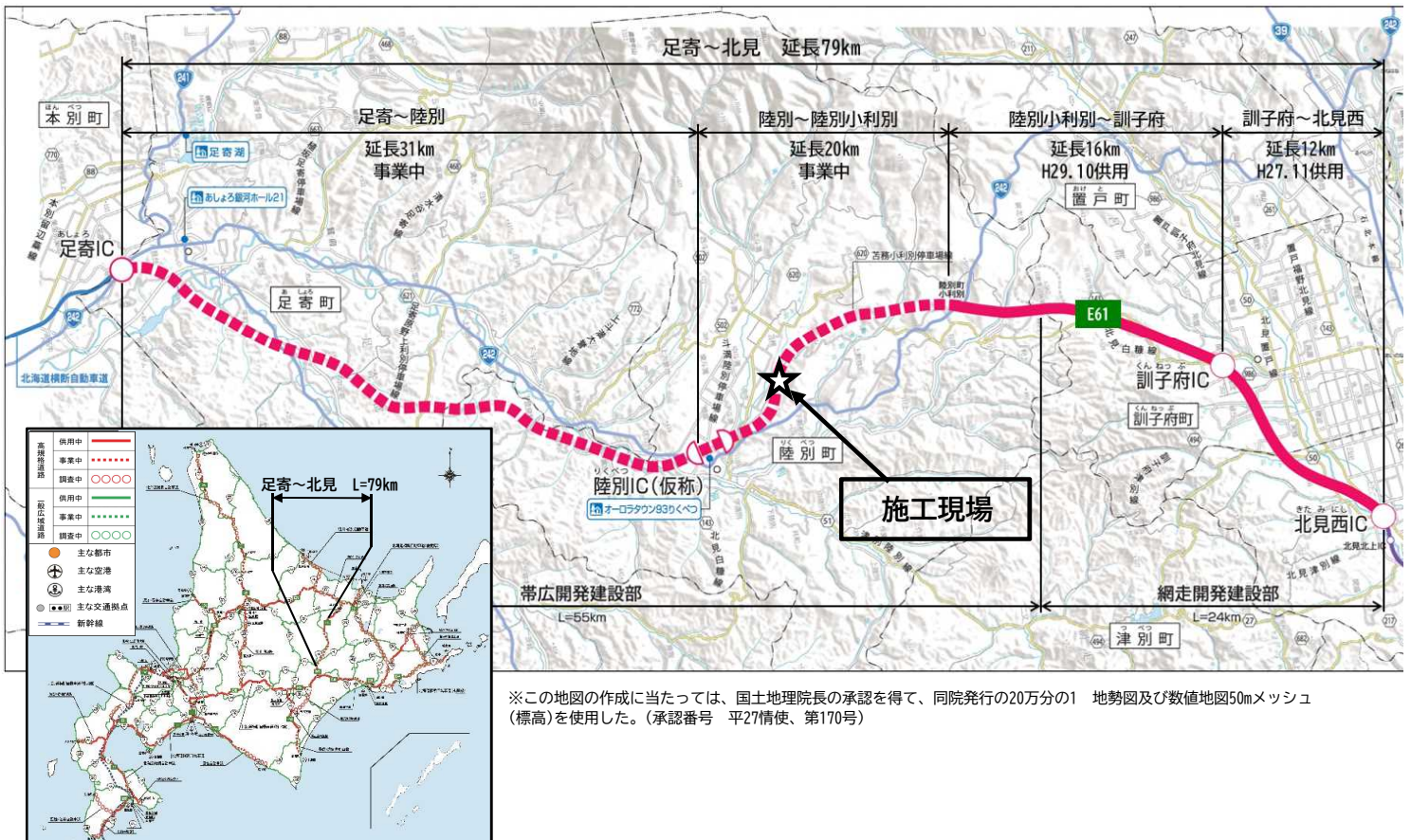


～i-Constructionの推進にむけて～

定置式水平ジブクレーンの試行

北海道開発局インフラDX・i-Constructionアクションプラン取組み事項の【生産性向上に向けた新技術・新工法への積極的なチャレンジ】の1つである定置式クレーン等の試行を、令和4年度 帯広開発建設部発注工事《北海道横断自動車道 陸別町 川向改良工事》にて実施いたします。定置式クレーンの導入により、現場内運搬の省力化が期待されます。

■ 施工現場 | 北海道横断自動車道 陸別町 川向改良工事



■ 定置式水平ジブクレーンとは？

定置式水平ジブクレーンとは、定位置に存置し、現場に常時設置して作業を行う水平ジブを持ったクレーンです。

クレーンの操作は、現場の作業員さんが無線操作盤（リモコン）を使用し、吊り荷を目視・確認しながら資材を運びます。



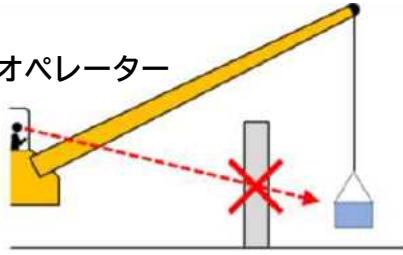
(写真：左)
ジョイスティック式
リモコンで、旋回・前後、
吊上・吊降しを操作



移動式クレーンとの違いは？

移動式クレーン

専門オペレーター

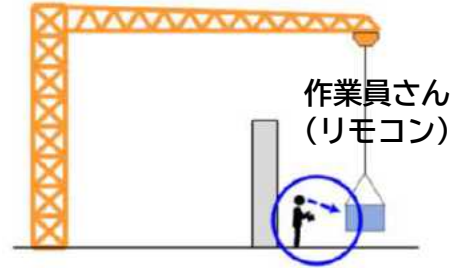


- ・クレーンが必要な時にだけ調達
- ・操作は専門オペレーター
- ・操縦席からの視認性に問題がある場合は別途指示者が必要



重たいモノを**持ち上げる**(上へ運ぶ)
ための“重機”としての役割

定置式水平ジブクレーン



- ・工事の最初から最後まで常に現場に存在
- ・操作は現場の作業員さん(特別教育受講は必要)
- ・操作者が吊り荷の近くまで寄ることもできるので視認性に優れる



現場内でモノを**横に動かす**(水平運搬)
ための“ヒトの道具”としての役割

実作業状況

○定置式水平ジブクレーンを常駐させ、足場・鉄筋・型枠組立・解体時に資材置場から作業箇所までの運搬に使用 ⇒ いわゆる**人で長く重たい資材を運ぶことが無い**。

(従来)



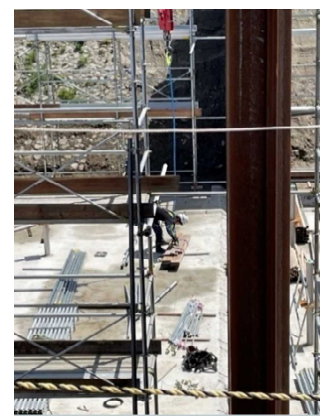
(ジブクレーン使用時)



- ・作業員さんが、足場材料を玉掛け



- ・そのまま、リモコンを操作し、資材を運搬。
※荷降し場所が見える位置で操作



- ・荷降ろし箇所及び作業員さんを目視しながら荷下ろし。

- 建設現場内で「モノ」を人が運ばなくてすむ労働環境
- 重労働の軽減、現場内事故リスクの軽減

が期待されます！

